

6.6 学位授与・課程修了の認定

進捗状況報告

前期課程並びに後期課程について、2008年度以降入学生を対象に、学位取得までのプロセスを明確化し提示できるよう、研究科委員会で検討を進めている。課程博士（甲号）学位取得については、大学の制度である大学院奨励研究員制度を利用するなどして、早い時期に学位を授与できるよう指導を強化している。前期課程および後期課程の双方において、編入学の可能性および妥当性についての検討は開始されていない。

学内第三者評価

前期課程において修士論文に代わる課題研究を導入することは遅滞なく検討を進めることが望ましい。大学基礎データ（表7）を見ると、2000年度から2006年度までの間に「博士（論文）」は3人が取得しているが、「博士（課程）」は1人も出ておらず、制度あるいは研究指導方法について検証が望まれる。